



平成29年12月1日
 ググっとぐんま観光宣伝推進協議会
 (事務局：群馬県観光物産国際協会)
 027-243-7273
 東日本旅客鉄道株式会社高崎支社
 産業経済部観光局観光物産課
 027-226-3385

ググっとぐんま観光キャンペーンの実施結果について

ググっとぐんま観光キャンペーン（平成29年7月1日～9月30日）の実施結果を取りまとめました。期間中の観光入込客数（推計）は20,127,909人で、前年に比べ368,686人の増（対前年比101.9%）となりました。

※本データは市町村等からの報告に基づく推計値です。

- ・今年の観光キャンペーンは、開催時期を5年ぶりの7月～9月の夏に変更し、今年度より新たに始まったJR東日本の「重点プロモーション地域」の指定を受けて実施した結果、観光キャンペーン期間中の入込客数は前年を上回る結果となりました。
- ・一方で、7月、8月は天候不順が続き、特に8月の上旬は日照時間が例年の半分になるなど記録的な日照不足となり、屋外のイベントが中止になったことなどが影響して、目標にしていた2,063万人（対前年比105.0%）には届きませんでした。
- ・しかしながら、「宿泊」に関する対前年比は、県全体の入込数は107.3%、主要温泉地における入込数も104.9%になるなど、「宿泊」の実績は、前年を大きく上回ることができ、キャンペーンの効果があったものと考えられます。
- ・なお、キャンペーンのオープニングを飾るセレモニーを昨年度まで実施した高崎駅から、今回のキャンペーンテーマである「水」と「山」の象徴的な場所である水上駅S L 転車台広場に変更し、実施しました。
- ・今年度の経験を活かし、平成30年度も同時期に「ググっとぐんま観光キャンペーン」を開催し、更なる誘客促進を図ってまいります。

◆ググっとぐんま観光キャンペーン（7～9月） 実施結果

名称	観光入込客数 (人)	対前年同期		目標値 (%)
		増減(人)	比率(%)	
ググっとぐんま観光キャンペーン (H29.7.1～9.30)	20,127,909	+368,686	+1.9	+5.0

※平成28年度は、JR東日本の重点販売地域指定、平成29年度は、JR東日本の重点プロモーション地域指定を受けて開催。

1 県全体の月別入込客数の状況

月別で入込状況をみると、7月が前年に比べ293,124人の減（対前年比95.5%）、8月が79,945人の減（同99.1%）、9月が741,755人の増（同116.3%）となりました。3カ月全体では368,686人の増（同101.9%）となりました。

要因としては、7月、8月は日照不足が続くなど天候不順が影響して、入込客数が減少しました。一方、9月は天候にも恵まれたため、大幅に入込客数は増加しました。その結果、3ヶ月間全体では前年比増となりました。

	入込客数		対前年	
	29年度(人)	28年度(人)	増減(人)	比率(%)
7月	6,237,873	6,530,997	▲293,124	95.5
8月	8,609,212	8,689,157	▲79,945	99.1
9月	5,280,824	4,539,069	+741,755	116.3
合計	20,127,909	19,759,223	+368,686	101.9

2 県全体の日帰り・宿泊別入込客数の状況

日帰り・宿泊別にみると、日帰りが前年に比べ199,535人の増（対前年比101.1%）、宿泊が169,151人の増（同107.3%）となりました。

	入込客数		対前年	
	29年度(人)	28年度(人)	増減(人)	比率(%)
日帰り	17,627,796	17,428,261	+199,535	101.1%
宿泊	2,500,113	2,330,962	+169,151	107.3%
合計	20,127,909	19,759,223	+368,686	101.9%

3 主要9温泉地の状況

主要9温泉地の入込客数の合計は、対前年比106.7%となり、前年を大幅に上回りました。7月、8月は天候不順が続きましたが、温泉地への影響は限定的であったと考えられます。

特に、白根山の噴火警戒レベルが引き下げられたことに伴い、国道292号線の規制解除が行われたため、万座温泉への入込の増加につながりました。また、4大温泉のうち、水上温泉及び四万温泉への宿泊実績が前年を下回った理由として、ホテルの廃業などが影響したものと考えられます。

温泉地名	日帰り		宿泊		合計	
	入込客数(人)	対前年比(%)	入込客数(人)	対前年比(%)	入込客数(人)	対前年比(%)
草津温泉	263,786	112.4	606,881	108.8	870,667	109.9
伊香保温泉	102,523	101.9	281,132	102.7	383,655	102.5
水上温泉	288,900	116.2	253,200	99.0	542,100	107.5
四万温泉	24,982	107.6	74,733	99.6	99,715	101.5
やぶ塚温泉	3,055	79.2	4,351	80.6	7,406	80.0
老神温泉	10,626	98.2	41,474	104.4	52,100	103.1
磯部温泉	6,996	67.8	31,965	96.7	38,961	89.8
万座温泉	27,000	98.1	114,100	109.2	141,100	106.9
猿ヶ京温泉	12,716	112.7	50,864	112.7	63,580	112.7
合計	740,584	110.4	1,458,700	104.9	2,199,284	106.7

4 主な観光地点・イベントの状況

(1) 主な観光地点

名称(所在地)	入込客数		対前年	
	29年度(人)	28年度(人)	増減(人)	比率(%)
中央児童遊園地(るなぱあく)(前橋市)	155,857	108,591	+47,266	143.5
富岡製糸場(富岡市)	207,420	241,817	▲34,397	85.8
道の駅ハッ場ふるさと館(長野原町)	166,966	121,914	+45,052	137.0
道の駅川場田園プラザ(川場村)	552,146	537,615	+14,531	102.7
ぐんまこどもの国(太田市)	137,340	133,402	+3,938	103.0

(2) 主なイベント

名称(開催地)	入込客数		対前年	
	29年度(人)	28年度(人)	増減(人)	比率(%)
いせさきまつり(伊勢崎市)	160,000	170,000	▲10,000	94.1
神流の涼(神流町)	8,378	21,559	▲13,181	38.9
中之条ピエンナーレ(中之条町)	275,091	-	+275,091	(隔年開催)
沼田花火大会(沼田市)	68,000	53,000	+15,000	128.3
桐生八木節まつり(桐生市)	550,000	525,000	+25,000	104.8

5 鉄道関連事業

(1) 主なイベント列車ご利用状況

SL「D51 498」、リゾートやまどりを軸に、人気マンガ「お前はまだガンマを知らない」のラッピング列車など鉄道の魅力あふれる列車を運行しました。

今年度より臨時列車情報パンフレットを家族連れのお客さまをターゲットとした「Gatan」にリニューアルし、宣伝展開を一新しました。

列車	区間	運転本数	人員(人)	対前年人員比
上越線 SL	高崎→水上	19	5,407	91.4%
	水上→高崎		3,469	93.6%
信越線 SL・EL	高崎→横川	9	2,664	113.4%
	横川→高崎		1,527	89.4%
リゾートやまどり	大宮→長野原草津口	11	1,043	108.9%
	長野原草津口→大宮		869	120.5%

【参考】

列車	区間	運転本数	人員(人)	対前年人員比
もぐらループ	水上→越後湯沢	6	669	64.5%
	越後湯沢→水上		653	71.9%
谷川もぐらループ	上尾→越後湯沢	2	221	36.6%
	越後湯沢→上尾		215	34.8%

(2) 駅からハイキング

第2四半期において「ググッとぐんま観光キャンペーン」のテーマである「水」と「山」に関連する14のコースを設定しました。また、昨年好評であった「ググッとぐんま駅からハイキングスタンプラリー2017」を今年も実施しました。

	29年	28年	前年比	増減
コース数	14	14		0
参加人数(人)	3,097	3,493	88.6%	-396

(3) 鉄道事業者連携施策

県内鉄道会社（上信電鉄、上毛電気鉄道、わたらせ渓谷鐵道、東武鉄道、JR 東日本高崎支社）での連携施策に取り組みました。

①「お前はまだガンマを知らない」スタンプラリー

7月1日より、県内の駅及び観光地の計11か所に人気マンガ「お前はまだガンマを知らない」のキャラクターを図柄としたスタンプを設置したラリーを実施しました。スタンプを3個集めるとオリジナル包装の幸煎餅を先着順でプレゼントし、6個ではイベントリュック、全箇所分を集めて応募すると抽選で直筆サインをプレゼントしました。

応募実績(通)	1,928
---------	-------

②ぐんまワンデー世界遺産パスの発売

7月～9月	29年	28年	前年比
発売枚数(枚)	3,862	3,086	125.1%

③各鉄道イベント

各社の相互出展と開催地域からの出展店協力等によりイベントを盛り上げ、集客を伸ばしました。

実施日	主催	イベント名称	来場者数(人)
7月1日(土)	JR 高崎支社	鉄道わくわくフェスティバル	約1,200
8月27日(日)	上毛電気鉄道	上毛電鉄感謝フェアイベント2017	約1,000
9月10日(日)	上信鉄道	頑張るぐんまの中小私鉄フェア2017	約3,000
9月23日(土・祝)	JR 高崎支社	高崎鉄道ふれあいデー	約6,500

6 成果と課題


(1) 成果

- ①夏の観光キャンペーンとしては、5年ぶりの開催となり、また、水源地「ぐんま」ならではの「水」と谷川岳などの県境稜線トレイルや上毛三山などの「山」を切り口とすることで、7月～9月の夏の時期における観光素材をPRすることができました。
- ②JR東日本の「重点プロモーション地域」の指定を受けたことにより、首都圏の主要駅における情報発信を強化できました。また、県外事務所のある中京・関西方面や北陸方面でも誘客促進を図りました。
- ③観光情報誌「ググっとぐんま」キャンペーン夏特集号、公共交通機関を利用したモデルコース集「小さな旅とっておきのぐんまを巡る旅」、各種キャンペーンポスター、のぼり旗等をJRと東武鉄道の首都圏主要駅で展開し、首都圏からの誘客につなげました。また、周遊観光パスポート「心にググっとぐんまちゃんパスポート」を展開し、県内周遊の促進を図りました。
- ④キャンペーンの直前には、大澤知事によるトップセールスを実施して、群馬県の観光の魅力を首都圏の旅行エージェントやメディア等にPRを行い、県内市町村の関係者とともにキャンペーン成功に向けた機運の醸成を図りました。

(2) 課題

- ①宿泊需要喚起と滞在時間の長期化による域内消費増加と地域の活性化
- ②観光キャンペーンにおける新たな観光素材の発掘、既存の観光素材の磨き上げ
- ③群馬デスティネーションキャンペーンの早期誘致

7 来年度のキャンペーン予定

ググっとぐんま 観光キャンペーン	期 間	平成30年7月1日(日)～9月30日(日)	
	主 催	ググっとぐんま観光宣伝推進協議会 (会長：群馬県知事、構成団体：県内250団体)	
	テーマ	「心にググっとぐんま わくわく 体験 新発見」	